

平成19年度 事業報告書

平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで

特定非営利活動法人 PEACE ON

1 事業の成果

イラク国内治安は地域によっては改善も見られ、最悪期は脱したようではありますが、依然として大変危険な状態であります。日本人スタッフが以前のように現地で活動できるような状況には遠く、現地スタッフも避難先から時機を見て入国するという困難な状況が続いておりますが、スタッフの家族の協力で本年度も小規模ながら現地支援を継続することができました。8月、9月にはスタッフ家族の避難先、イラク北部モースルにて、そして3月にはバグダードに戻りこれまで一時中断していた支援活動を再開すべく調査を開始できました。国内では引き続きイラク支援NGO間のネットワークを活かして各種イベントを企画、参加し、ヨルダンのダルブナーギャラリーの協力を得て、イラク現代アート展を11月には東京、2月には京都で開催しました。2月の京都展では地域の会員が中心となって実行委員会が発足し、期間中各界の識者をお招きしてイラクの文化に関する講演会や、演奏会、イラク映画上映会など、多彩な関連企画を催すことができました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

| 事業名 | 内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数 | 受益対象者の範囲及び人数 | 支出額(千円) |
|-------------------|---|----------------------------------|---------------------|----------------|--------------------|---------|
| イラクプロジェクト(継続) | イラク、モースル市内孤児院への備品寄付(ベッドシート、通学バスタイヤ修理、掃除用具、プリンタイバグダード*スタッフとの打合せはヨルダン・アンマン、シリア・ダマスカス) | モースル8月～9月 バグダード3月～(調査) | モースル市孤児院、小児病院。 | 2名 現地スタッフ3名 | 孤児院の子ども約30人 | 1344 |
| 「イラク現代アートの先駆者たち」展 | ヨルダンのダルブナーギャラリーの協力でイラク現代アート展を開催。京都展では「中東カフェ」との共催で講演、演奏会、映画上映など関連イベント多数。 | 11月19日～12月1日(東京) 2月9日～17日(京都) | 銀座中和ギャラリー 思文閣美術館 | 2名 京都実行委員6名 | 東京約200名 京都約300名 | 819 |
| その他企画各種 | 講演会、報告会など各種イベントの企画開催。参加。 | 期中各地(別表参照) | 日本各地 | 1名～10名 | 会員、支援者、各イベント参加者 | 145 |

(2) その他の事業

| 事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数 | 支出額(千円) |
|------|--|------|---------|--------|---------|
| 物品販売 | アラブ民芸雑貨、イラク現代絵画、オリジナルTシャツ、絵葉書、缶バッジ、書籍等の販売。 | 期中各地 | 各イベント会場 | 2名 | 923 |